令和６年度事業実績（12/23作成） 白石市

資料7-2

（１）新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組

②バーチャル観光やワーケーション需要等，新たな観光価値提供に向けた受け入れ環境整備

＜地域おこし協力隊を活用した観光振興事業＞

令和２年度から、地域おこし協力隊制度を活用し、白石城内での甲冑体験の実施を中心に、歴史的観光資源や本市の特性を活かしたイベントの企画、実施を行っている。

情報発信については、Facebook、Instagram、X（旧Twitter）、Youtubeチャンネルを活用し、活動の様子や白石市の情報を発信しており、プロモーションの一役も担っている。また、全国放送のメディアにも出演し、白石城をはじめとした白石市の魅力を広く発信しており、国内外の観光客向けてPRを行っている。

○令和６年１２月までの取組

■甲冑体験　１１月までの体験者数が４０１人、うち本格甲冑体験者を２１人に体験いただいた。

■情報発信　テレビ朝日「１０万円でできるかな」、NHK「COOL JAPAN」への出演やSNSによる情報発信

■そ の 他　各種イベントへの参加、旅行会社へのPRの実施など

○令和７年３月までの計画・方向性等

本格甲冑体験の体験者を増加させるため、体験内容のブラッシュアップを行う。

甲冑体験の認知度を上げるため、SNSを活用した情報発信や旅行会社へのPRを行う。

「本格甲冑体験の様子」

③地域のコンテンツの一体的ＰＲやテーマ性を持った広域周遊促進（近隣観光需要の取込）

＜国道113号（二市二町）観光推進協議会事業＞

平成８年から、国道113号沿線の宮城県、山形県の二市二町の観光資源を共同でＰＲするため結成された協議会で、白石市から南陽市までの国道113号を愛称「みちのくおとぎ街道」とし、プロモーション活動を中心に、両県をまたいだ周遊を促進する事業を実施している。

また、「みちのくおとぎ街道」は、日本風景街道（所管国土交通省）に登録されており、道をテーマに地域ならではの風景や自然、文化など地域資源を活かした地域づくりを目指し、運営に係るミーティングなどに参加、他の登録ルートの団体と意見交換を行い、活動に活かしている。

○令和６年１２月までの取組

「みちのくおとぎ街道」の知名度向上を目指し、道の駅に配架されている「おでかけみちこ」に記事を掲載

また、二市二町の魅力を再発見及び発信することを目的とし、みちのくおとぎ街道スタンプラリーを実施（有効応募総数４７０件）

○令和７年３月までの計画・方向性等

■みちのくおとぎ街道フォトコンテストにおいて応募された作品を活用し、パンフレット等を作成

■知名度向上を目指し、高いプロモーション効果が期待できる媒体を選定して情報発信を行う

みちのくおとぎ街道
スタンプラリーチラシ

令和６年度事業実績（12/25作成）　角田市

（１）新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組

③地域のコンテンツの一体的ＰＲやテーマ性を持った広域周遊促進（近隣観光需要の取込）

サイクルツーリズム推進事業

令和４年度策定したかくだサイクルツーリズム推進計画に基づきサイクリストたちの市内への誘致等を促進するために、環境整備やイベントの企画を各種団体と連携しながら実施。

自転車乗り方教室の開催　（年３回開催　夏中止、１１月１６日　３月）　　ファミリーサイクリング　（未定）

（２）広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のＰＲによる誘客促進

④周辺観光圏と連携した県内・県外客向け共同プロモーション

阿武隈急行沿線開発推進協議会事業

（1）沿線活性化事業の開催

○あぶきゅうウォーク

・阿武隈急行沿線の5自治体にそれぞれウォーキングコースを設定し、参加者はウォーキングを楽しみながら各地の観光地を巡る。

○わたしたちのあぶくま急行絵画コンクール

沿線自治体のの児童を対象に、阿武隈急行の絵画を募集し、阿武隈急行列車内に展示した。

（2）角田市単独の阿武隈急行線利用促進事業

○体験乗車会＆お絵かきトレイン　3月開催予定、40名の参加を見込む

・阿武隈急行駅長による「あぶ急クイズ」や切符の買い方体験、車両窓ガラスへのお絵かき体験。

（３）広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や，滞在型メニューの充実

①アドベンチャーツーリズムなどの多彩な体験型観光メニューや滞在型コンテンツ商品の造成

グリーンツーリズムによる体験型観光の実施

8月４日　　とうもろこし収穫体験

９月７日　シャインマスカット収穫体験

5月12日、5月19日、8月17日・１８日、9月14日

梨園再生チャレンジ　休耕農地の再生に取り組んでいる梨園の梨が出来るまでの年4回お手伝いをして収穫までを体験。

10月6日　秘伝豆収穫体験

11月23日　12月21日　ねぎ収穫体験

令和７年度事業計画（案）

（１）新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組

○サイクルツーリズム推進計画に基づくイベントの実施

・ファミリーサイクリング、自転車乗り方教室

（２）広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のＰＲによる誘客促進

○沿線活性化事業

・あぶQウォーク　・あぶくま急行絵画コンクール

（３）広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や，滞在型メニューの充実

○農業収穫体験（予定　生育状況等により中止になる場合あります）

6月　梅もぎとり収穫体験　8月　とうもろこし収穫体験　9月　梨もぎとり体験　10月　枝豆収穫体験・もぎとり体験

11月　ねぎ収穫体験

+スポーツツーリズム。調整中

もぎとり体験の様子

令和６年度事業成果と令和７年度事業計画（案）

蔵王町

（１）広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実

12/25作成

①アドベンチャーツーリズムなどの多彩な体験型観光メニューや滞在型コンテンツ商品の造成
＜蔵王町体験交流活動推進協議会事業＞

陶芸教室(蔵王焼　万風窯)

こけし絵付け体験(みやぎ蔵王こけし館)

アイスクリーム作り体験(蔵王酪農センター)

〇体験交流活動に係る受入体制の整備、関係団体との連携、連絡調整を継続して実施
〇令和6年度実績:「教　育　機　関」県内3校／県外2校…計5校（令和6年12月25日時点）
「主要観光施設」みやぎ蔵王こけし館　等
〇令和7年度計画:「教　育　機　関」県内1校／県外1校…計2校（令和6年12月25日時点）
「主要観光施設」みやぎ蔵王こけし館　等

小鳥ブローチ作り(ことりはうす)

森林散策(ことりはうす)

バーベキュー(みやぎ蔵王えぼしリゾート)

令和6年度七ヶ宿町の主要事業実績（見込み含む）（12/23作成）

七ヶ宿町

（１）新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組

②バーチャル観光やワーケーション需要等，新たな観光価値提供に向けた受け入れ環境整備
農業体験などによる宿泊型交流事業

（株）ベガルタ仙台と七ヶ宿まちづくり（株）と連携し、町内の空き家をリノベーションした「ベガルタハウス」の畑を活用し、種まきから収穫、販売など年間を通したイベントを展開し、町に訪れる交流人口の増加を図った。

○事業者体：まちづくり株式会社

・第1回種まき体験実施　5/25(土) 参加者6名　・第2回種まき体験実施　6/8(土) 参加者5名

・収穫体験会　10/5(土)　参加者31名

・ベガルタ観戦町民ツアーにおいて収穫した野菜の販売会を実施　10/19(土)

（２）広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のＰＲによる誘客促進

②蔵王ジオパーク構想などと連携した地域の食と観光のブランド化による誘客促進
七ヶ宿ブランド事業

「七ヶ宿ブランド」の認定や新規認定品の開発支援などを行うとともに、町外のイベントで販売会を行った他、パンフレット等を積極的に活用し、周知・広報を行い七ヶ宿ブランドの認知向上を図った。

○事業委託先：七ヶ宿町商工会

・新規認定　3品　　更新認定　1品　　計20品登録

・イベント販売（地場産業振興協議会事業、東北絆祭り等）

（３）広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や，滞在型メニューの充実

①アドベンチャーツーリズムなどの多彩な体験型観光メニューや滞在型コンテンツ商品の造成
南蔵王やまびこの森事業

キャンプ場運営に加え、長老湖を利用したＳＵＰ体験や貸しボート事業のほか新たに売店営業を行うなどより多くの観光客に滞在していただけるような事業を実施。

新たなファンイベント等を開催し、より多くの観光集客を図るとともに宿泊交流人口の増加を図った。

○事業主体:まちづくり株式会社

・『やまびこＤＡＹＳ』4/7(日)　来場者約100名　売上42,710円

・『七ヶ宿　やまびこの森　Work Shop Fes』 8/31(土)－9/1(日)　来場者約300名　売上777,800円

・SUP事業　利用者　R5：270名　　R6：390名（前年比144％）

令和６年度　大河原町の主要事業の実施状況（１２月２５日現在）

（３）広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在メニューの充実

②　隣接地域との連携やテーマ性のある観光ルート形成

▶ みやぎ仙南サイクルツーリズム推進会議事業
〈令和６年度事業計画(案)〉

①みやぎ仙南サイクルツーリズム TV番組制作事業

TV番組として、蔵王の麓に広がる仙南地域のサイクリングの魅力を紹介する映像作品を制作（委託）し、サイクリスト誘客を図った。

◆番組名　サイクリング「にっぽん」宮城県仙南地域

◆番組構成
仙南エリアのサイクリングの魅力を広めるアンバサダーを委嘱したMTBプロライダー井手川直樹氏が、仙南地域を１泊２日でサイクリングで巡り、サイクリストの目線で、自然や風景、おすすめスポットを紹介。

◆放送局・日程
ＢＳ１１　令和６年９月２９日放送
※放送後Youtube、Tverで視聴可（視聴期限あり）

◆視聴者数　16,000人（ライブ視聴者1.2万人、録画0.4万人）
Youtube　5,000回、Tver5,600回（10/5現在）

◆特設サイト公開
推進会議HP内に番組特設サイトを公開。コース詳細やコース動画を掲載。

◆サイクリング体験会「Sennan cycling day」開催
番組で紹介したコースをもとに、サイクリング体験会を開催。
経験者コース　１４名参加　　ビギナーコース４名参加

②令和７年度以降の事業計画検討

令和５年度をもって推進会議設立当初に計画した事業をほぼ実施した。また、ＴＶ放送の反響の受け皿として、令和７年度以降の事業計画を検討します。
令和７年１月に作業部会開催予定。

令和６年度　村田町の主要事業の実施状況（１２月末現在）

村田町

（１）新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組

③地域のコンテンツの一体的ＰＲやテーマ性を持った広域周遊促進（近隣観光需要の取込）

●宮城オルレ「村田コース」

　オープンから１年経過し、今年度１１月までに約４０００人が村田コースを訪れ、外国人旅行者のオルレツアーや旅行行程にオルレを活用した周遊ツアーが民間主体で年数回実施されるなど、多くの利用者で賑わいを見せた。

　１０月１９日（土）に宮城オルレ「村田コース」の１周年を記念したトレッキングイベントを「宮城オルレフェア２０２４」の一環として開催した。１週間程で募集定員の１５０名に達したため、募集枠を拡大し、２００名を超える募集があった。開催日の天気予報が雨だったこともあり、当日は１５４名の参加者が村田コースを歩きフィニッシュを目指した。

（３）広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実

④周辺観光圏と連携した県内・県外客向け共同プロモーション

●地域連携パートナーシップ

　株式会社日本レースプロモーション（以下「JRP」）と、地域活性化とモータースポーツの振興を目的に、６月３日に「地域連携パートナーシップ」協定を締結しました。同協定により、JRPからは各種メディアやイベントを通じた各自治体のPRや、SUPER FORMULAに関する映像や肖像を無償提供が可能となり、各自治体においては、地元サーキットで大会が開催される期間だけでなく、他の地域で大会が開催される期間においても、年間を通じてサーキットの内外にてSUPER FORMULAの権利を活用したPR活動を行うことができる。

　６月２２日、２３日に開催された「SUPER FORMULA 第3戦 東北大会 スポーツランドSUGO」では、地域連携ブースを設置し、同協定を締結している連携自治体の観光RRもあわせて行った。

令和５年度～令和６年度 柴田町観光主要施策

（１）新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組

12/24作成

「花のまち柴田」をテーマにした通年観光の展開による交流人口拡大事業

・しばた桜まつり（3月29日～4月14日）（R5:230,000人 前回比84%／R6:260,000人 前回比113%）
・しばた紫陽花まつり（6月21日～7月7日）（R5:15,765人 前年比138%／R6:13,353人 前回比85 %）
・しばた曼珠沙華まつり（9月21日～10月6日）（R5:11,466人 前年比113%／R6:7,657人 前回比67 %）
・みやぎ菊花展柴田大会（10月20日～11月13日）（R5:5,150人 前年比99％／R6:3,827人 前回比74 %）
・Shibata Fantasy Illumination（12月14日～1月13日）（R5：22,889人。前年比148％）**※開催中**
・しばたスプリングフラワーフェスティバル（R7年3月9日）**※予定**（R5:1,006人 前年比100％）

（２）広域連携による地域の魅力のPRによる誘客促進（R5）

「白石川堤一目千本桜」ブランド化事業（大河原町との連携事業）

・写真パネル展の実施
100年目の桜を撮影したパネルを制作。両町のイベントや商業施設で巡回展示を行っている。
・フォトロゲ大会の実施
地図をもとに、時間内にチェックポイントを回り、得点を集めるスポーツ。
10月29日（日）2町を舞台に、大河原町役場を発着所として開催。町内外から100名参加。
・デジタルスタンプラリーの実施
LINEを活用し2町内の103店舗が参加したスタンプラリーを開催（R5年10月7日～R6年1月14日）　1,454人がアプリに参加

（３）広域連携による周遊ルートの形成や滞在型メニューの充実（R5・R6）

ガーデンツーリズム推進事業（庭園間交流連携促進事業）

【R5】官民連携まちなか再生推進事業（国土交通省）の採択を受け、未来ビジョン（実行計画）の策定に向け、実証実験等を実施。
・キッチンカーキャラバンの実施
10月8日（日）村田町布袋まつり　／　12月15日（金）～17日（日）おおがわら桜イルミネーション
・モニターツアーの実施
10月1日(日)柴田町（曼珠沙華まつり）～蔵王町（梨狩りほか）／12月16日（土）大河原町（体験、イルミ）～柴田町（イルミ）
【R6】昨年度に引き続き、未来ビジョン（実行計画）の策定に向け、実証実験等を実施。
・県南地域の観光振興の方向性を示す未来ビジョン（実行計画）の策定
・ みやぎ蔵王ハーモニー花回廊推進協議会ホームページの強化　／ ・エリア内ツアーコースの造成／ ・パンフレット制作等
・協議会ＨＰやＳＮＳ、情報誌、マスコミ等による積極的な情報発信

令和６年度事業成果と令和７年度事業計画

川崎町

（１）新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組

12/25作成

③ 地域コンテンツ一体的ＰＲやテーマ性を持った広域周遊促進

プレミアム商品券事業（Ｒ６）⇒（R７継続予定）

・　エネルギー価格や物価高騰による買い控えや消費意欲の後退により、町内事業所の景気は　厳しい状況にあるため、３割増プレミアム商品券を発行し、町民の購買意欲を喚起し町内経　済を循環させるため、１セット13,000円を10,000円で販売（１人２セット上限）したところ、１時間に満たないうちに完売した。※〇月〇日現在の換金率〇％

川崎町総合観光・物産情報誌作製事業

・観光需要の変化に伴う紙面情報の精査と更新により、新たな誘客及び交流人口の増加を図り好評を得た。(R6成果)

・インバウンド需要への対応として現在発行している温泉地観光情報誌の翻訳を実施。町ＨＰへ掲載した。(R6成果)

包括的シティプロモーション事業

・YouTube・SNSショート動画コンテンツ制作（各12回）。

・ラジオ番組制作（２回/月）。

※前年度からの継続。庁舎内放送連動で周知。(R6成果)

丸森町　令和６年度事業実績（見込み含む）（１２/２４作成）

（１）新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組

①安全安心対策の情報発信及び安全安心対策や新たなビジネスモデル転換への支援

令和５年度事業の官民共創次世代リーダー育成研修（自治体職員と企業の次世代リーダー候補者が一緒にチームを組み、地域の課題を題材に課題設定から解決策の創出までを本業と並行して取り組む研修プログラム）において提案のあった情報発信の強化を実施

・ホームページのリニューアル
・ＳＮＳ（Instagram等）の徹底

③地域のコンテンツの一体的ＰＲやテーマ性を持った広域周遊促進（近隣観光需要の取込）

丸森町町内経済活性化事業

⑴まるもり地域ポイント事業（事業費：2,546千円　発行総額：2,000千円（抽選で1,000名に2,000ポイント付与）
⑵商店街活性化応援事業（事業費：1,500千円　内容：売り出しセール景品ほか）

（３）広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や，滞在型メニューの充実

①アドベンチャーツーリズムなどの多彩な体験型観光メニューや滞在型コンテンツ商品の造成

まるもりグリーン・ツーリズム推進協議会事業

〇本年度の予定
・募集型体験企画（主催）
企画内容（御朱印つき猫神さま巡り(通年)、栗拾い体験(秋)、ころ柿作り体験(秋)、町内8地区地域歩き企画(夏～冬)）

猫神さま巡り

栗拾い体験

ころ柿作り体験

地域歩き企画（魅力再発見）

・地域への定期的な誘客のため企画検討（案：丸森の七夕神社⇔仙台七夕を繋げて誘客を図れるもの）
・伊達なバス旅ツアー企画の制作（企画制作協力、旅行実施は丸森“こらいん”ツーリスト）